

第4章 男女の健康意識に関する調査の結果

1 日ごろの不調に関する状況

(1) 現在抱えている病気やけが等の不調

- 全ての回答者に対して、現在抱えている病気やけが等の不調について尋ねた結果を見ると、「便秘」「肩こり」「手足が冷える」は、男性に比べて女性の方が不調として割合が極めて高い。男性は、「肩こり」「腰痛」「体がだるい」の順で不調を訴える割合が高いが、女性と比較して全般的に不調を訴える割合は低い。

表4.1.現在抱えている病気やけが等の不調（性別・性年代）

(%)

		肩こり	腰痛	手足が冷える	体がだるい	いらいらしやすい	目のかすみ・物を見づらい	頭痛	眠れない	便秘	もの忘れする	手が悪い・手足のしびれ	手足の関節が痛む・手足の動き	胃腸の不調	足のむくみやだるさ	めまい
全体(n=5000)		32.1	24.9	19.4	16.6	16.0	14.2	13.2	12.6	11.2	10.2	9.7	9.0	8.8	6.5	
性別	男性(n=2500)	23.3	23.3	10.2	17.0	14.8	12.2	10.5	14.1	6.5	9.8	9.0	7.4	3.6	5.3	
	女性(n=2500)	40.9	26.5	28.6	16.2	17.2	16.2	15.8	11.0	15.9	10.6	10.4	10.6	14.0	7.7	
性年代	男性20代(n=437)	22.0	18.1	10.8	24.7	22.4	8.5	14.2	16.5	4.1	11.4	4.1	7.1	3.4	7.6	
	男性30代(n=563)	26.6	23.4	14.2	25.9	22.9	9.4	17.6	22.4	6.0	11.0	8.0	12.3	4.8	7.1	
	男性40代(n=500)	28.0	28.4	11.0	18.0	15.6	15.6	12.2	16.0	10.0	10.6	10.8	8.6	3.8	7.2	
	男性50代(n=500)	23.2	23.4	8.2	12.0	10.2	14.6	6.8	11.0	6.6	8.6	10.8	5.4	3.8	3.6	
	男性60歳以上(n=500)	16.0	22.4	6.6	4.0	2.8	12.8	1.2	4.0	5.4	7.2	11.0	3.0	2.0	1.2	
	女性20代(n=500)	40.6	22.8	37.2	26.2	26.6	11.4	21.8	17.0	21.4	10.8	5.6	15.8	16.4	10.8	
	女性30代(n=500)	44.8	25.4	36.0	19.8	23.2	11.4	23.4	12.2	20.0	8.6	7.0	11.6	17.4	9.2	
	女性40代(n=500)	45.8	28.2	28.0	17.8	17.8	18.8	17.8	9.4	15.8	10.0	9.6	9.8	18.8	7.8	
	女性50代(n=500)	42.8	31.6	24.0	10.4	13.2	21.6	11.4	9.4	14.0	13.2	14.4	10.2	10.4	7.2	
	女性60歳以上(n=500)	30.6	24.4	18.0	6.8	5.0	17.8	4.8	7.0	8.4	10.2	15.4	5.4	7.0	3.8	

(備考) 赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

表4.2.現在抱えている病気やけが（性別・性年代）（つづき）

(%)

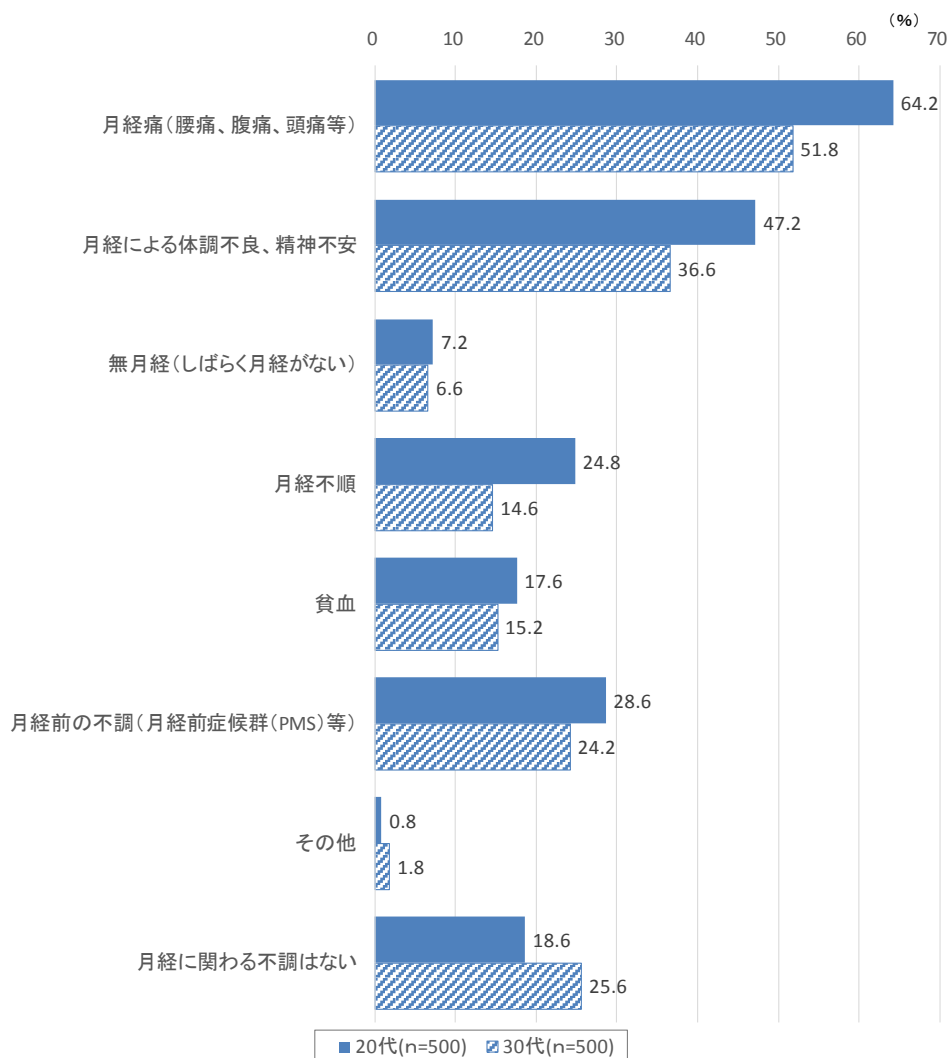
		月経不順・月経痛	耳なりがする・きこえにくい	下痢	発疹・かゆみ	動悸・息切れ	口腔内の不調	尿が出にくい・頻尿・尿失禁、排尿の不調（頻尿、尿失禁）	痔による痛み・出血など	熱がある	胸部に痛みがある	骨折・ねんざ・脱ぎゅう	妊娠に伴う体調不良（つわり、悪阻等）	その他	あてはまるものはない
全体(n=5000)		6.3	6.1	6.0	5.7	5.6	5.0	4.2	3.5	2.2	2.2	1.0	0.5	1.3	29.9
性別	男性(n=2500)	-	5.2	7.3	5.0	4.9	4.6	4.5	3.9	2.7	2.1	1.1	-	0.8	36.7
	女性(n=2500)	12.6	7.0	4.7	6.4	6.3	5.4	4.0	3.1	1.6	2.3	0.9	0.9	1.8	23.0
性年代	男性20代(n=437)	-	3.4	6.4	5.5	4.3	4.3	1.1	2.7	8.5	2.3	1.6	-	0.7	32.3
	男性30代(n=563)	-	4.4	11.4	4.4	6.9	5.0	3.9	6.9	2.8	2.8	0.9	-	0.7	30.7
	男性40代(n=500)	-	4.0	8.2	4.8	4.2	5.4	3.6	3.6	1.6	1.8	0.4	-	0.8	32.6
	男性50代(n=500)	-	6.0	7.0	5.2	5.4	3.8	6.4	2.8	1.2	1.8	1.2	-	0.6	41.0
	男性60歳以上(n=500)	-	8.2	2.8	5.4	3.2	4.4	7.2	3.0	0.2	1.8	1.4	-	1.2	47.2
	女性20代(n=500)	26.4	9.0	8.4	6.0	9.2	5.2	4.0	4.8	3.6	2.0	0.8	3.4	1.6	18.0
	女性30代(n=500)	19.0	5.8	5.8	6.2	4.8	4.4	2.2	4.6	2.2	2.6	0.6	1.2	1.4	21.8
	女性40代(n=500)	14.4	7.4	5.0	8.2	7.2	4.8	3.0	4.0	1.6	2.6	1.0	-	1.8	20.4
	女性50代(n=500)	3.2	7.4	2.4	7.2	6.4	5.6	4.2	1.6	0.2	2.6	1.2	-	2.2	22.8
	女性60歳以上(n=500)	-	5.2	1.8	4.4	3.8	6.8	6.4	0.4	0.6	1.6	0.8	-	1.8	32.2

(備考) 赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

(2) 月経に関わる不調の状況

- 女性のみで月経に関する不調を尋ねた結果を見ると、20～30代の7～8割が月経に関する何らかの不調を感じている。月経痛は、20代の64.2%、30代の51.8%抱えている。

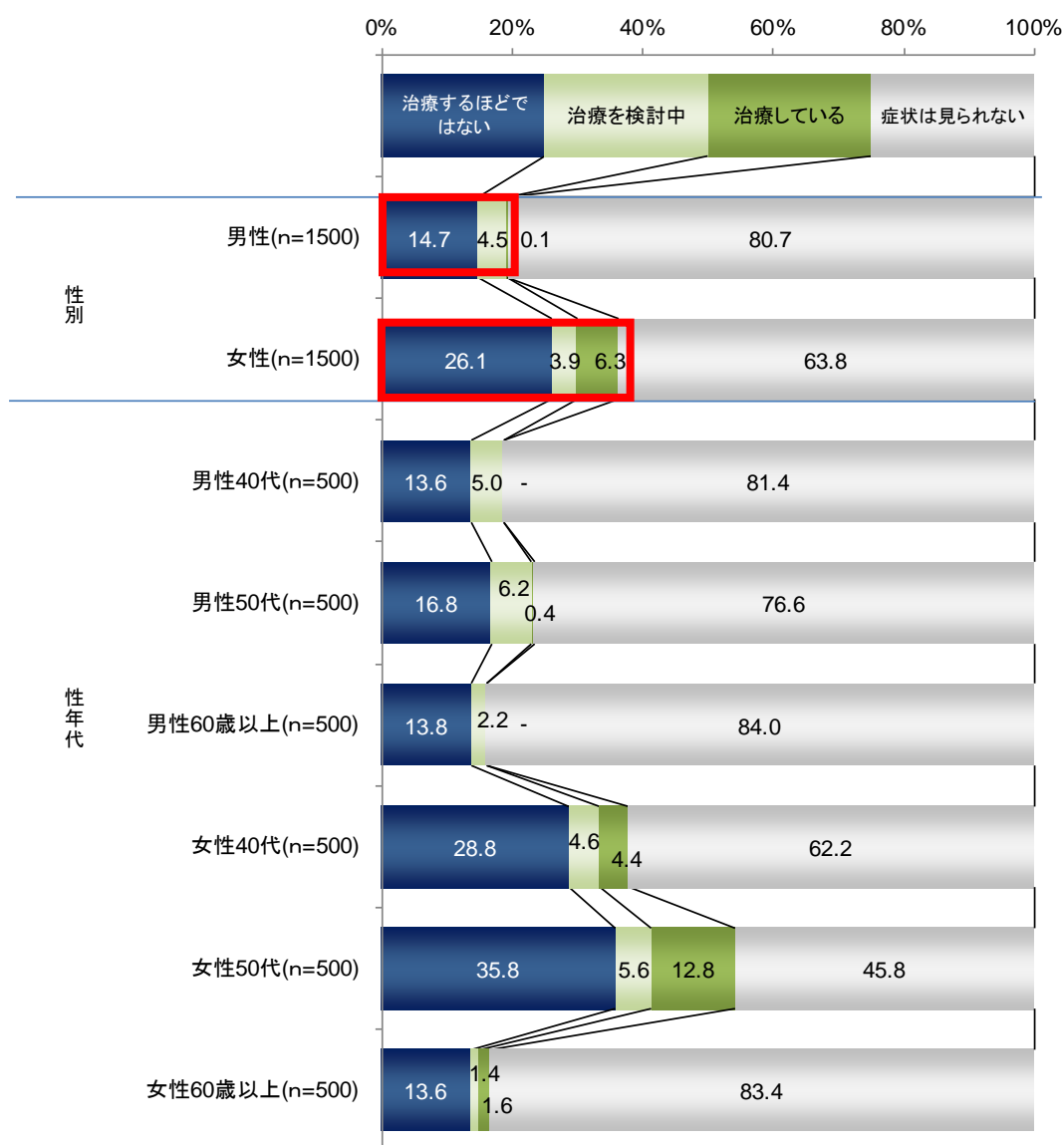
図4.1.月経に関わる不調の状況（女性のみ）



(3) 肩こり、ほてり、発汗等の更年期障害に関する症状

- 40歳以上の男女を対象に更年期障害に関する症状の有無を尋ねた結果を見ると、女性の36.3%（うち、40代は37.8%、50代は54.2%）、男性の19.3%（うち、40代は18.6%、50代は23.4%）が何らかの更年期障害を抱える。
- 女性の26.1%、男性の14.7%は「症状が見られるが治療するほどではない（治療していない）」としているが、女性3.9%、男性の4.5%が治療を検討し、女性の6.3%、男性の0.1%が実際に治療を行っている。

図4.2.更年期障害に関わる症状の有無（40代以上の男女）



2 傷病等に関する状況

(1) 通院ありの者の傷病

- 通院ありと回答した者の傷病の状況を見ると、男性は「うつ病やその他のこころの病
気」が 46.6% で女性 26.8% である。「糖尿病」の女性は 13.6% に対して、男性は 38.4%
と高い。
- 女性特有の傷病として、「子宮筋腫」が 14.4%、「子宮内膜症」が 10.9%、「月経困難
症」が 7.3% である。

表4.3.通院ありの者の傷病（性別・性年代・就業形態）

(%)

		うつ病やその他のこころの病 気	糖 尿 病	悪 性 新 生 物 (が ん)	子 宮 筋 腫	狭 心 症 ・ 心 筋 梗 塞	子 宮 内 膜 症	関 節 リ ウ マ チ	更 年 期 障 害	骨 粗 し よ う 症	不 妊 症 (妊 娠 を 望 み な が ら 1 年 間 以 上 妊 娠 の 兆 し が あ る 等)	月 経 困 難 症 (子 宮 筋 腫 や 子 宮 内 膜 症 で 月 経 痛 が 強 く 病 院 に か か つ て い る 等)	バ セ ド ウ 病 、 橋 本 病	脳 卒 中 (脳 出 血 、 脳 梗 塞 等)	卵 巢 嚢 腫	性 感 染 症 (性 器 ク ラ ミ ジ ア 感 染 、 性 器 へ ル ペ ス ウ イ ル ス 感 染 、 淋 病 、 梅 毒 等)	産 前 胎 盤 早 剥 離 等	妊 娠 ・ 産 褥 期 の 傷 病 (妊 娠 悪 阻 、 妊 娠 浮 腫 、 妊 娠 中 毒 症 、 切 迫 流 産 等)	産 後 う つ の 症 状 (産 後 約 2 週 〜 1 か 月 以 内 に 起 る)
合計	通院あり(n=2500)	36.7	26.0	9.4	7.2	5.4	5.4	4.8	4.3	3.8	3.7	3.6	3.2	2.4	2.0	1.1	0.6	0.4	
性別	男性・通院あり(n=1250)	46.6	38.4	8.6	-	9.0	-	3.5	0.7	1.2	1.4	-	1.0	4.1	-	1.7	-	-	
	女性・通院あり(n=1250)	26.8	13.6	10.2	14.4	1.8	10.9	6.2	7.8	6.4	6.1	7.3	5.3	0.8	4.1	0.6	1.2	0.7	
性・年代	20代・男性・通院あり(n=187)	57.2	13.4	12.8	-	11.2	-	8.6	3.2	5.9	4.3	-	3.2	9.6	-	8.0	-	-	
	30代・男性・通院あり(n=313)	74.4	17.6	4.2	-	1.3	-	3.2	0.3	-	1.9	-	1.3	1.9	-	1.9	-	-	
	40代・男性・通院あり(n=250)	60.4	37.2	3.2	-	3.2	-	3.2	-	0.8	0.4	-	0.8	3.6	-	-	-	-	
	50代・男性・通院あり(n=250)	31.2	57.2	8.0	-	14.0	-	0.4	0.8	0.4	0.8	-	-	2.8	-	-	-	-	
	60歳以上・男性・通院あり(n=250)	5.2	65.6	17.2	-	17.6	-	3.6	-	0.4	-	-	-	0.4	4.4	-	-	-	
	20代・女性・通院あり(n=250)	43.6	4.4	2.4	5.6	1.2	13.2	1.6	-	1.6	7.2	20.4	5.6	1.2	6.0	2.4	4.8	2.4	
	30代・女性・通院あり(n=250)	37.2	6.0	6.0	16.0	-	18.8	2.8	1.6	1.2	18.0	9.6	5.6	-	6.4	0.4	1.2	0.4	
	40代・女性・通院あり(n=250)	22.8	11.6	9.2	30.8	0.8	14.0	5.2	8.8	0.8	5.2	5.6	4.4	0.8	3.6	-	-	0.4	
	50代・女性・通院あり(n=250)	22.4	16.0	16.4	16.0	0.8	6.8	7.6	25.6	2.8	-	0.8	6.8	-	3.6	-	-	0.4	
	60歳以上・女性・通院あり(n=250)	8.0	30.0	17.2	3.6	6.4	1.6	13.6	3.2	25.6	-	-	4.0	2.0	0.8	-	-	-	
性・職業	男性・通院あり正規の職員・従業員(n=743)	49.4	36.3	8.7	-	7.7	-	4.0	0.9	1.6	1.5	-	1.2	3.6	-	2.6	-	-	
	非正規の職員計(n=274)	52.9	36.1	6.9	-	10.2	-	1.1	-	0.4	-	-	1.1	2.9	-	0.7	-	-	
	その他の就業形態(n=233)	30.0	47.6	10.3	-	11.6	-	4.7	0.9	0.9	2.6	-	0.4	6.9	-	-	-	-	
	女性・通院あり正規の職員・従業員(n=458)	23.6	9.8	9.4	19.7	1.1	14.8	6.1	7.4	2.2	6.6	10.7	5.0	0.9	6.1	1.1	2.0	0.9	
	非正規の職員計(n=631)	28.4	14.9	10.1	12.5	2.2	9.4	6.0	8.4	7.9	6.5	5.7	4.8	0.8	3.2	0.3	1.0	0.6	
	その他の就業形態(n=161)	29.8	19.3	13.0	6.8	2.5	5.6	6.8	6.8	12.4	3.1	3.7	8.1	0.6	1.9	-	-	-	

(備考) 1.通院ありのみの回答。「通院あり」は、その他の傷病以外のいずれかの傷病1つに罹患して通院している。

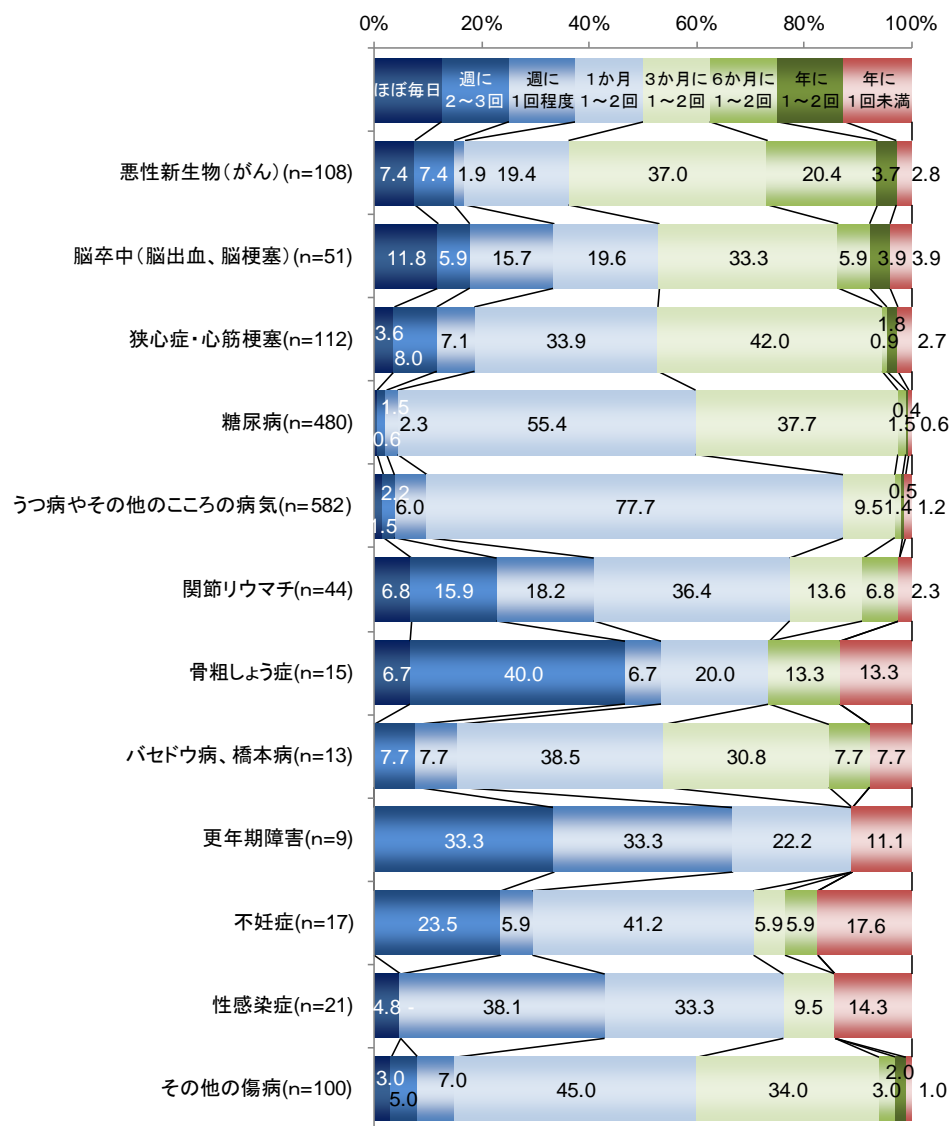
2.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

3.子宮筋腫、子宮内膜症、月経困難症、卵巣嚢腫、妊娠産褥期の傷病、産後うつは女性のみ回答。

(2) 傷病ごとの通院の頻度

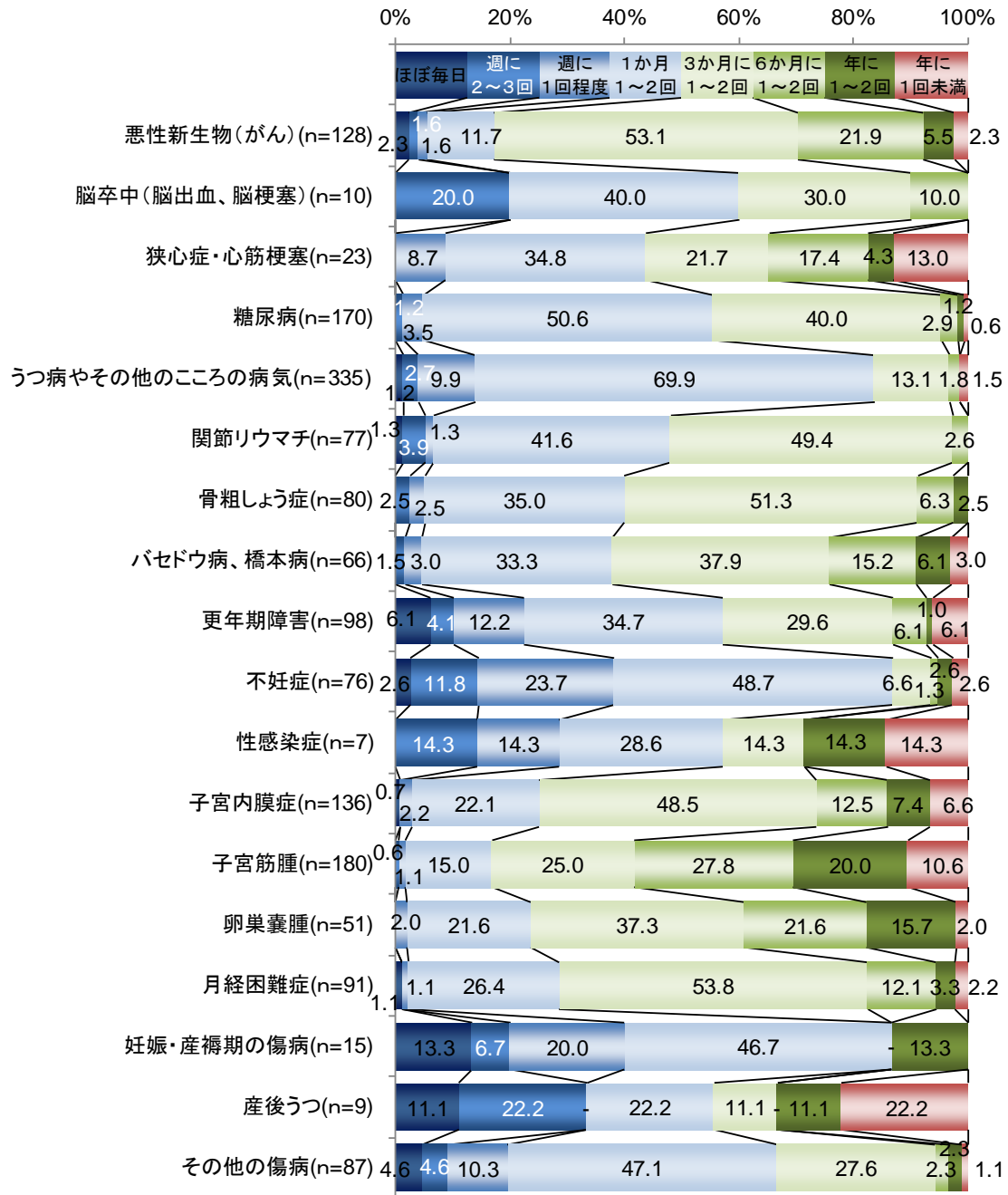
- 通院ありの者の通院の頻度の結果を見ると、男性は、「うつ病やその他のこころの病気」、「性感染症」、「関節リウマチ」で1か月に1~2回以上通院している人が通院者の7割以上を占める。
- 女性は、「不妊症」、「妊娠・産褥期の傷病」「うつ病やその他のこころの病気」で1か月に1~2回以上通院している人が通院者の7割以上となっている。

図4.3.傷病ごとの通院の頻度（男性）



(備考) 通院ありのみの回答。男性は、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣嚢腫、月経困難症、妊娠・産褥期の傷病、産後うつは対象外として除く。

図4.4.傷病ごとの通院の頻度（女性）

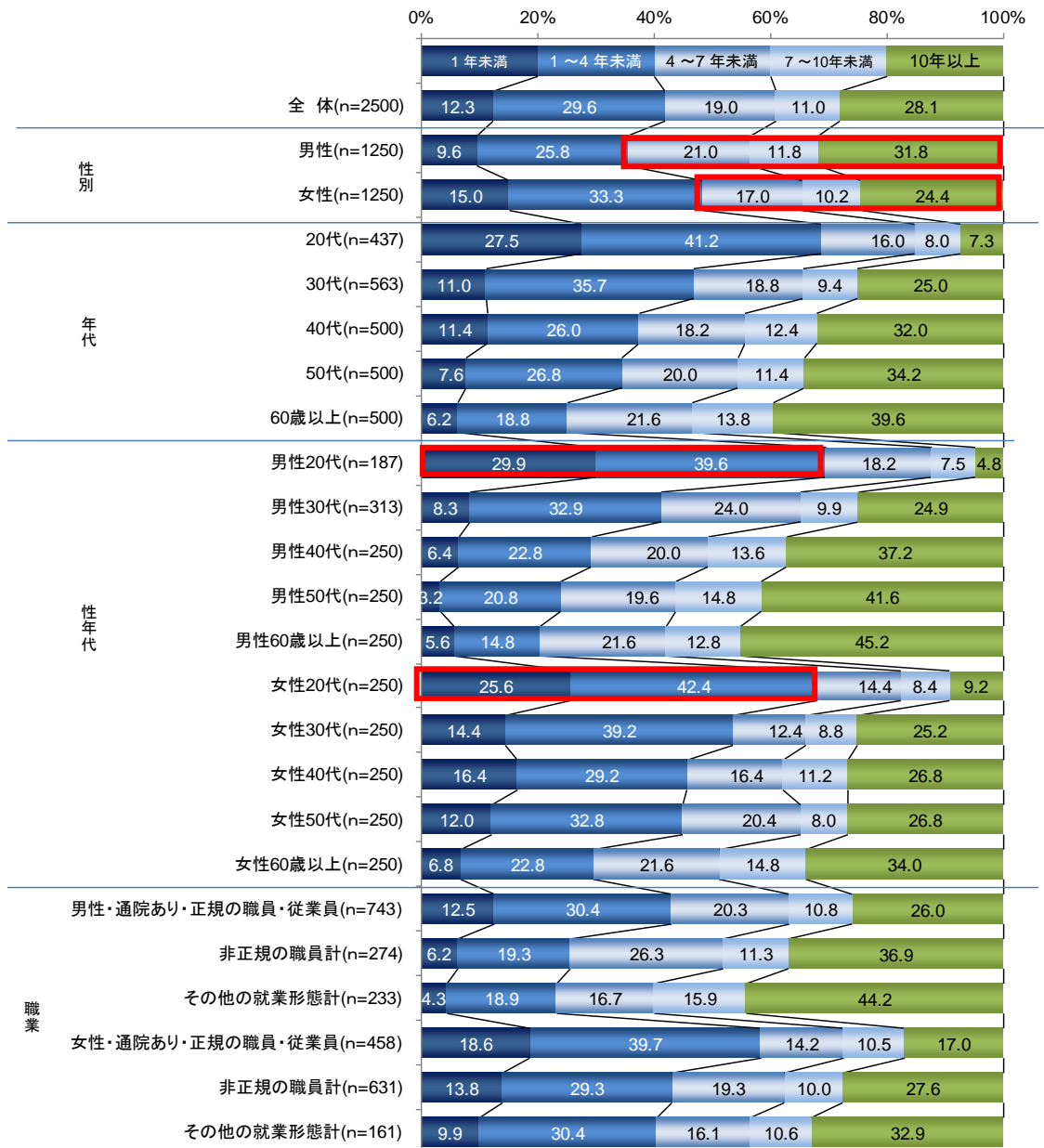


(備考) 通院ありのみの回答。

(3) 通院期間

- 通院期間の結果を見ると、4年未満では男性よりも女性の方が高く、4年以上は男性の方が高い。
- 男女ともに20代は4年未満が7割弱である。男性は30代以上、女性は40代以上で4年以上が過半数を占めるとともに、高齢ほど「10年以上」が高くなる。

図4.5. 通院期間（性別・年代・性年代・就業形態）

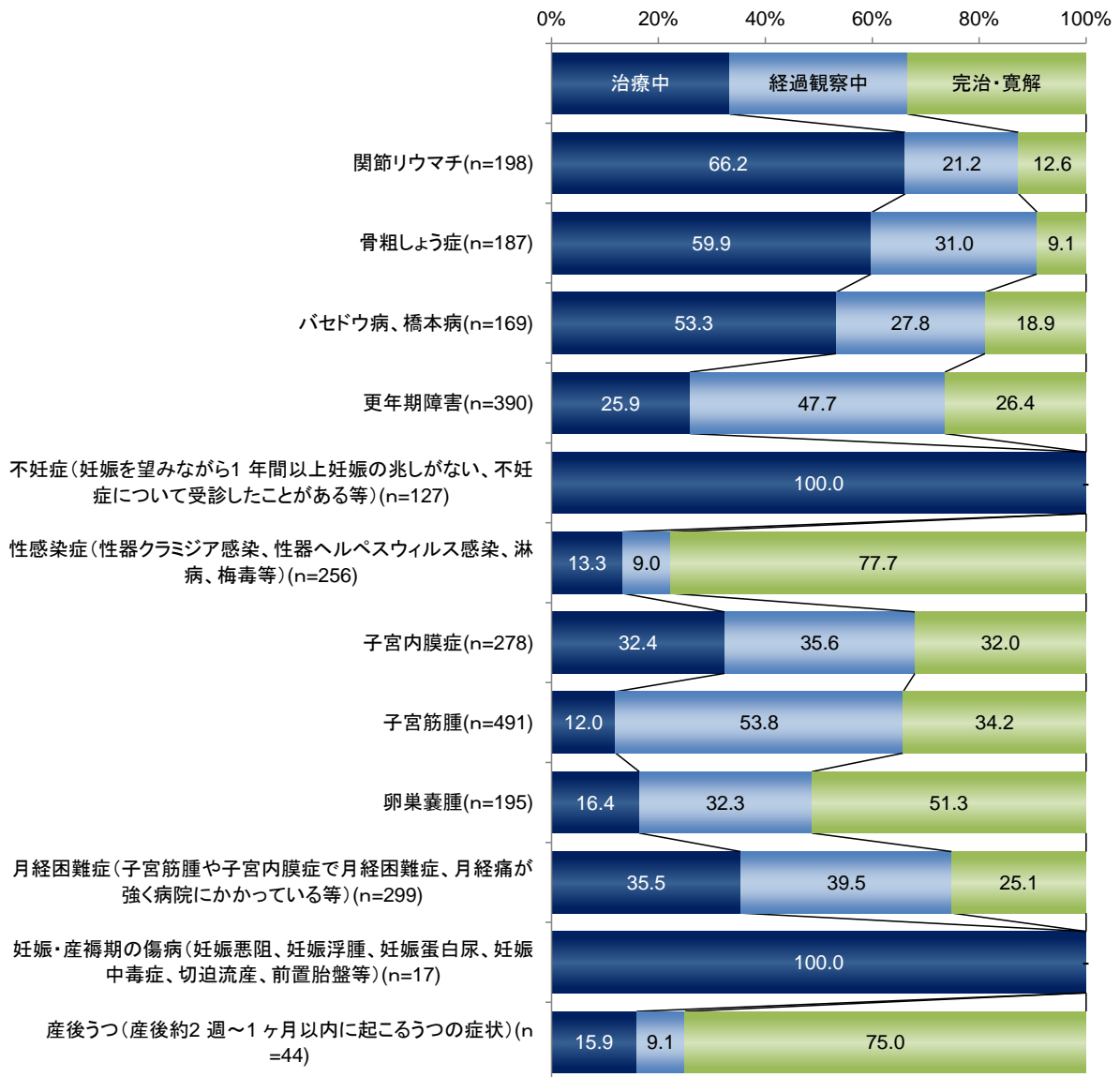


(備考) 通院ありのみの回答。

(4) 治療の状況

● 治療状況の結果を見ると、子宮内膜症罹患経験者のうち、治療中は 32.4%、経過観察中は 35.6%である。子宮筋腫罹患経験者のうち、治療中は 12.0%、経過観察中は 53.8%である。

図4.6. 治療の状況（傷病名別）



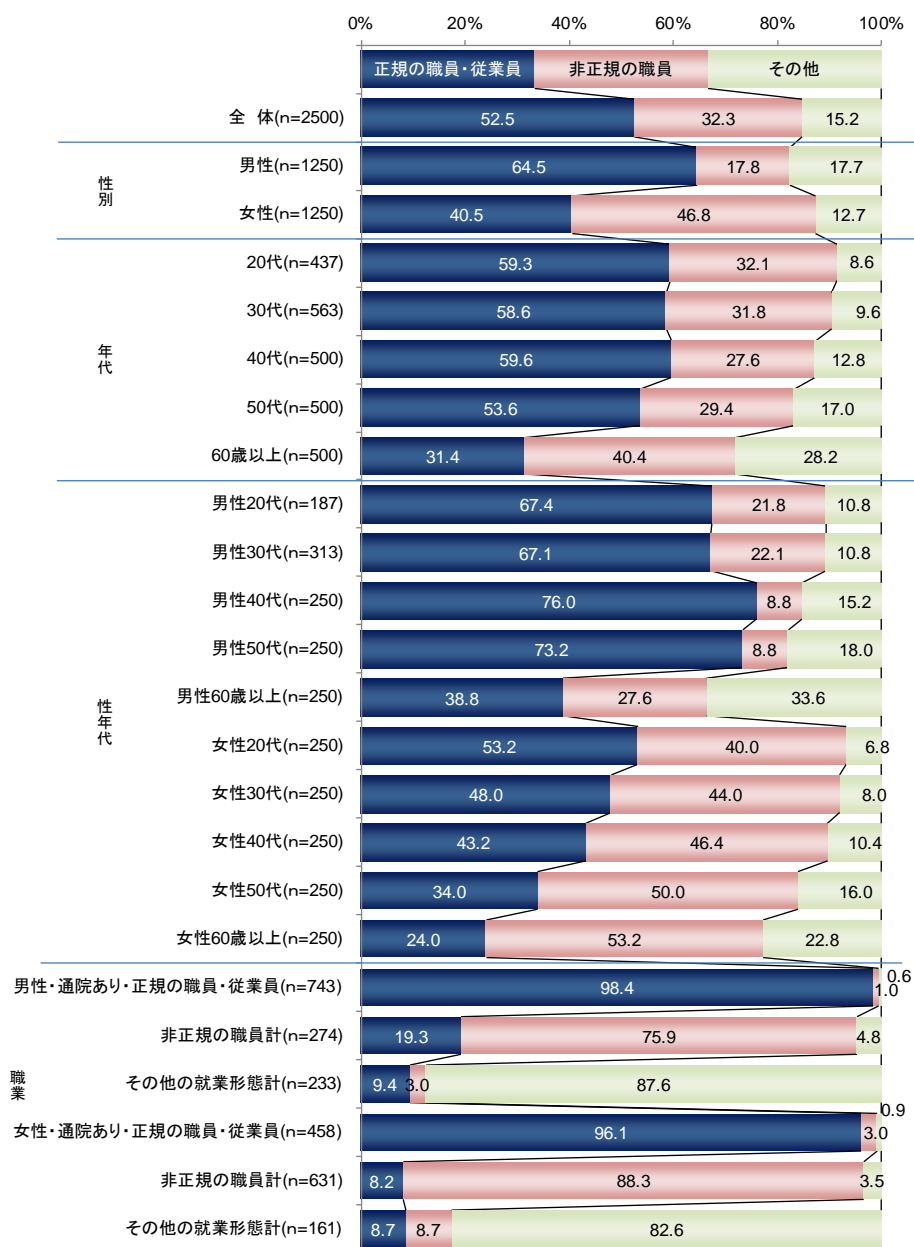
- (備考) 1.n 値は「罹患経験者なし」「その他」を除いた人数。
 2.関節リウマチ、骨粗しょう症、バセドウ病・橋本病、更年期障害、不妊症、性感染症は男女の結果、それ以外は女性のみ結果。
 3.回答者には通院なしも含む。

3 仕事と治療の両立に関する状況

(1) 通院頻度の最も多い傷病の罹患時の就業状況

- 疾病罹患時の就業状況について性別で見ると、男性は正規の職員が 64.5%、女性は非正規の職員が 46.8% でそれぞれ最も高い。
- 性年代では、男性は 20 代、30 代、60 歳以上で非正規の職員が 2 割以上。女性はどの年代も非正規の職員が 4 割以上を占める。

図4.7. 通院頻度の最も多い傷病の罹患時の就業状況（性別・年代・性年代・就業形態）

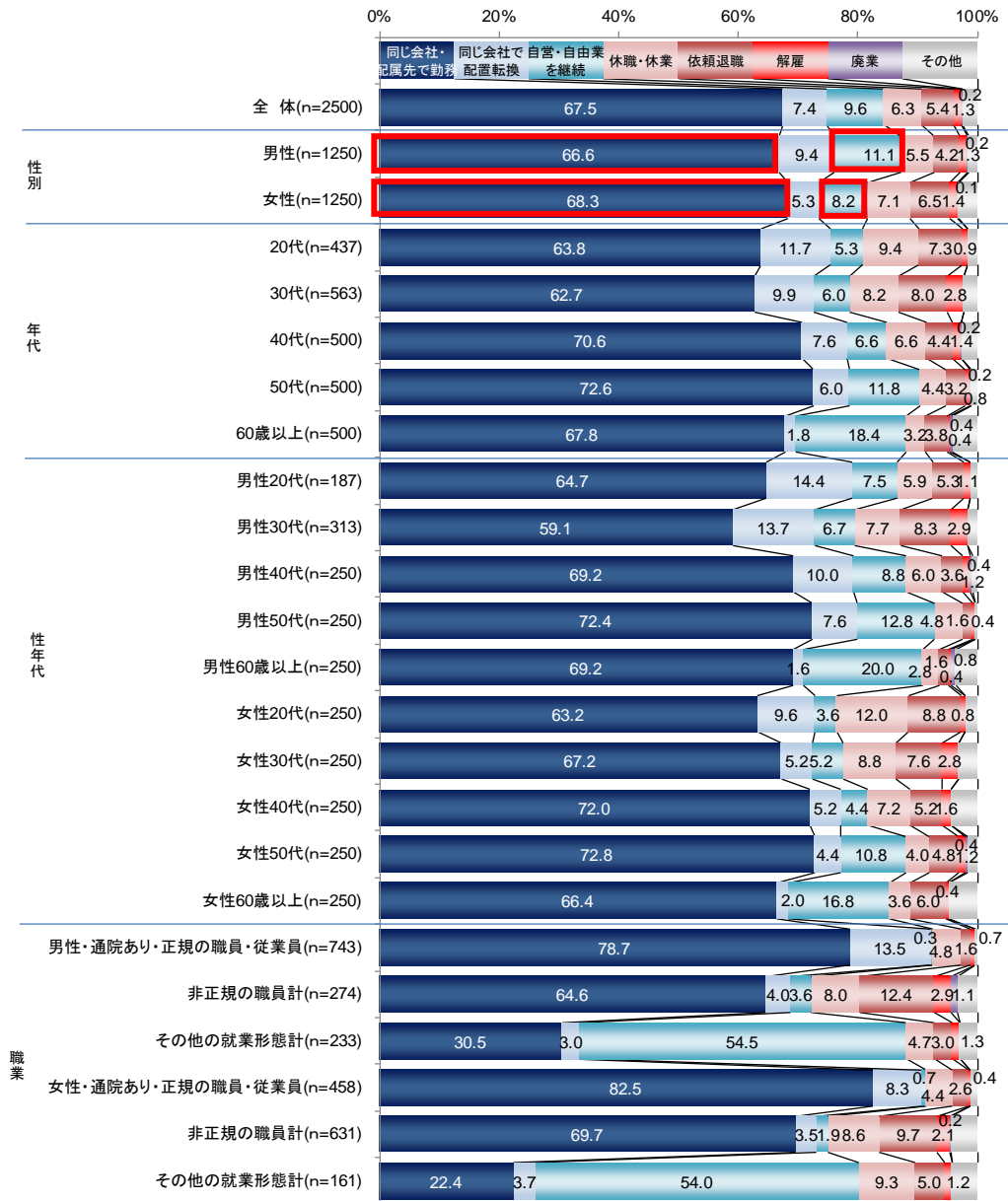


(備考) 通院ありのみの回答。

(2) 通院頻度の最も多い傷病罹患後の就業状況

- 疾病罹患直後から1年程度の状況について性別で見ると、男性の77.7%、女性の76.5%が罹患時と同じ会社・配属先で継続して勤務、もしくは自営業・自由業を継続している。

図4.8. 通院頻度の最も多い傷病罹患後の就業状況（性別・年代・性年代・就業形態）

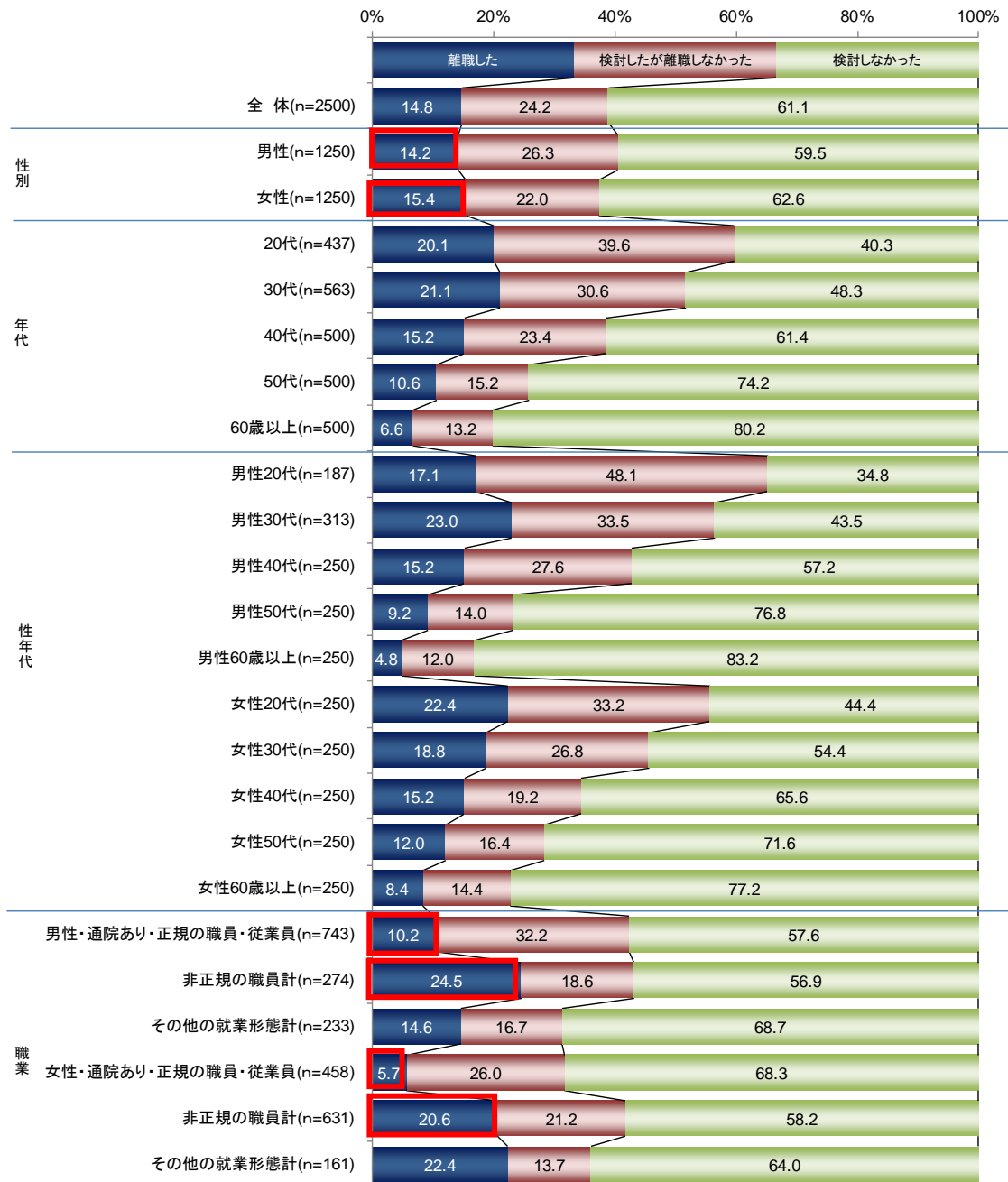


(備考) 通院ありのみの回答。

(3) 通院頻度の最も多い傷病の治療に際する離職検討の有無

- 疾病治療に際しての離職検討の状況を見ると、男性 14.2%、女性の 15.4%が離職している。検討したが離職しなかった者は、男性は 26.3%、女性は 22.0%である。男女ともに非正規の方が離職した割合が高い。

図4.9. 通院頻度の最も多い傷病の治療に際する離職検討の有無（性別・年代・性年代・就業形態）



(備考) 通院ありのみの回答。

(4) 治療しながら働く際に利用している制度

- 治療しながら働く際に利用している社内制度の結果を見ると、男性の30.2%、女性20.1%が「治療目的の休暇・休業制度」を利用している。女性の51.6%が「利用できる制度がない」としている。正規、非正規に関わらず、女性の方が「利用できる制度がない」が高い。

表4.4.治療しながら働く際に利用している制度（性別・年代・性年代・就業形態）

(%)

	治療目的の休暇・休業制度	時間単位の有給休暇の取得	フレックスタイム制度	残業の禁止	慣らし出勤制度	所定労働時間を短縮する制度	在宅勤務制度	失効年次有給休暇の積立制度	時差出勤制度	その他	制度はあるが利用した事はない	利用できる制度がない
全体(n=2500)	25.1	13.7	9.0	6.1	4.6	4.4	4.1	3.8	3.8	1.8	11.2	44.6
性別												
男性(n=1250)	30.2	14.8	11.0	7.8	5.8	4.7	4.2	4.1	4.2	1.9	11.9	37.5
女性(n=1250)	20.1	12.6	7.0	4.4	3.4	4.2	3.9	3.4	3.5	1.6	10.5	51.6
年代												
20代(n=437)	36.8	16.9	8.9	9.2	6.4	8.0	8.0	7.3	5.5	0.2	9.4	32.3
30代(n=563)	29.7	15.8	12.1	9.9	8.5	6.4	3.7	4.1	3.9	2.1	9.9	40.7
40代(n=500)	24.4	14.6	9.2	5.4	4.4	3.4	3.2	3.2	4.6	1.2	9.6	46.4
50代(n=500)	23.8	13.0	7.6	4.2	3.0	2.2	2.2	2.6	2.6	2.4	13.0	44.6
60歳以上(n=500)	11.8	8.4	7.0	1.8	0.4	2.4	3.8	2.0	2.8	2.6	14.0	57.8
性年代												
男性20代(n=187)	44.9	20.3	10.7	12.8	5.9	11.2	8.6	9.6	5.3	-	5.9	21.9
男性30代(n=313)	32.9	15.3	12.5	11.5	10.5	5.8	3.8	4.2	4.5	2.9	8.9	37.1
男性40代(n=250)	30.4	16.0	11.6	6.8	5.2	3.2	3.2	1.6	4.8	1.6	10.0	38.4
男性50代(n=250)	31.2	14.0	10.8	6.0	5.2	2.4	2.4	3.6	4.0	2.4	14.0	34.4
男性60歳以上(n=250)	14.4	9.6	9.2	2.4	0.8	2.4	4.4	2.8	2.4	2.0	20.0	52.0
女性20代(n=250)	30.8	14.4	7.6	6.4	6.8	5.6	7.6	5.6	5.6	0.4	12.0	40.0
女性30代(n=250)	25.6	16.4	11.6	8.0	6.0	7.2	3.6	4.0	3.2	1.2	11.2	45.2
女性40代(n=250)	18.4	13.2	6.8	4.0	3.6	3.6	3.2	4.8	4.4	0.8	9.2	54.4
女性50代(n=250)	16.4	12.0	4.4	2.4	0.8	2.0	2.0	1.6	1.2	2.4	12.0	54.8
女性60歳以上(n=250)	9.2	7.2	4.8	1.2	-	2.4	3.2	1.2	3.2	3.2	8.0	63.6
性別・通院・職業												
男性・通院あり・正規の職員・従業員(n=743)	40.1	19.9	13.2	9.8	6.9	4.8	4.0	5.4	4.6	1.3	12.1	26.6
非正規の職員計(n=274)	21.5	9.1	6.9	6.6	5.1	6.9	4.0	3.6	4.4	3.3	13.9	45.6
その他の就業形態計(n=233)	8.6	5.2	9.0	3.0	3.0	1.7	5.2	0.4	2.6	2.1	9.0	62.7
女性・通院あり・正規の職員・従業員(n=458)	28.8	19.9	11.1	5.2	4.1	4.4	3.5	5.5	3.9	0.9	12.0	37.6
非正規の職員計(n=631)	16.0	9.5	4.8	4.1	3.0	4.4	2.7	2.5	3.0	1.9	10.1	59.0
その他の就業形態計(n=161)	11.2	4.3	4.3	3.1	3.1	2.5	9.9	1.2	4.3	2.5	7.5	62.7

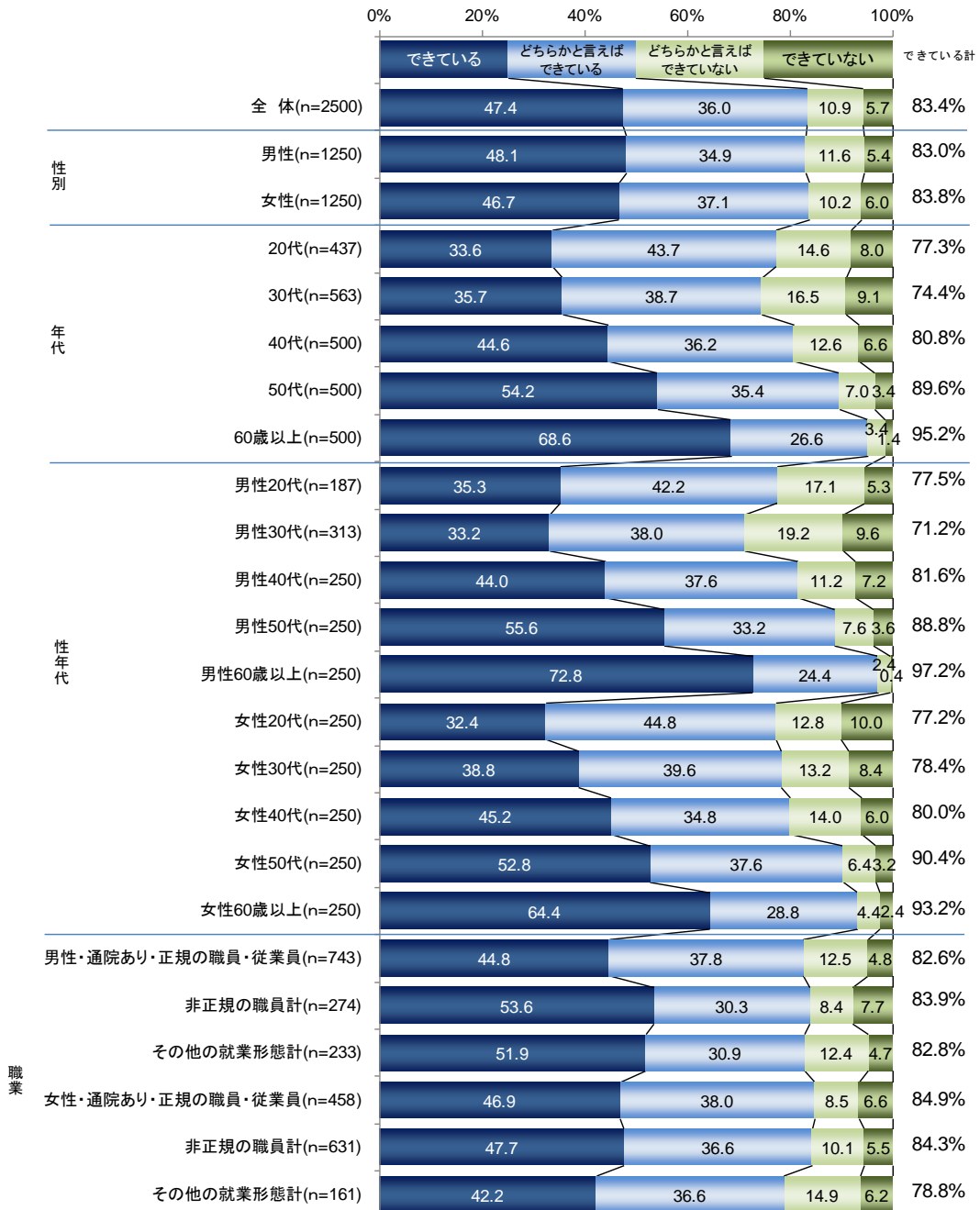
(備考) 1.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

2.通院ありのみの回答。

(5) 現在の仕事と治療の両立状況についての評価

- 現在の仕事と治療の両立の評価を見ると、「できている」という人は、通院ありのうち47.4%、「どちらかと言えばできている」が36.0%で、83.4%が『できている』としている。
- 年代別では、男女ともに概ね若年層ほど「できている」の率が低い。

図4.10. 現在の仕事と治療の両立状況についての評価（性別・年代・性年代・就業形態）

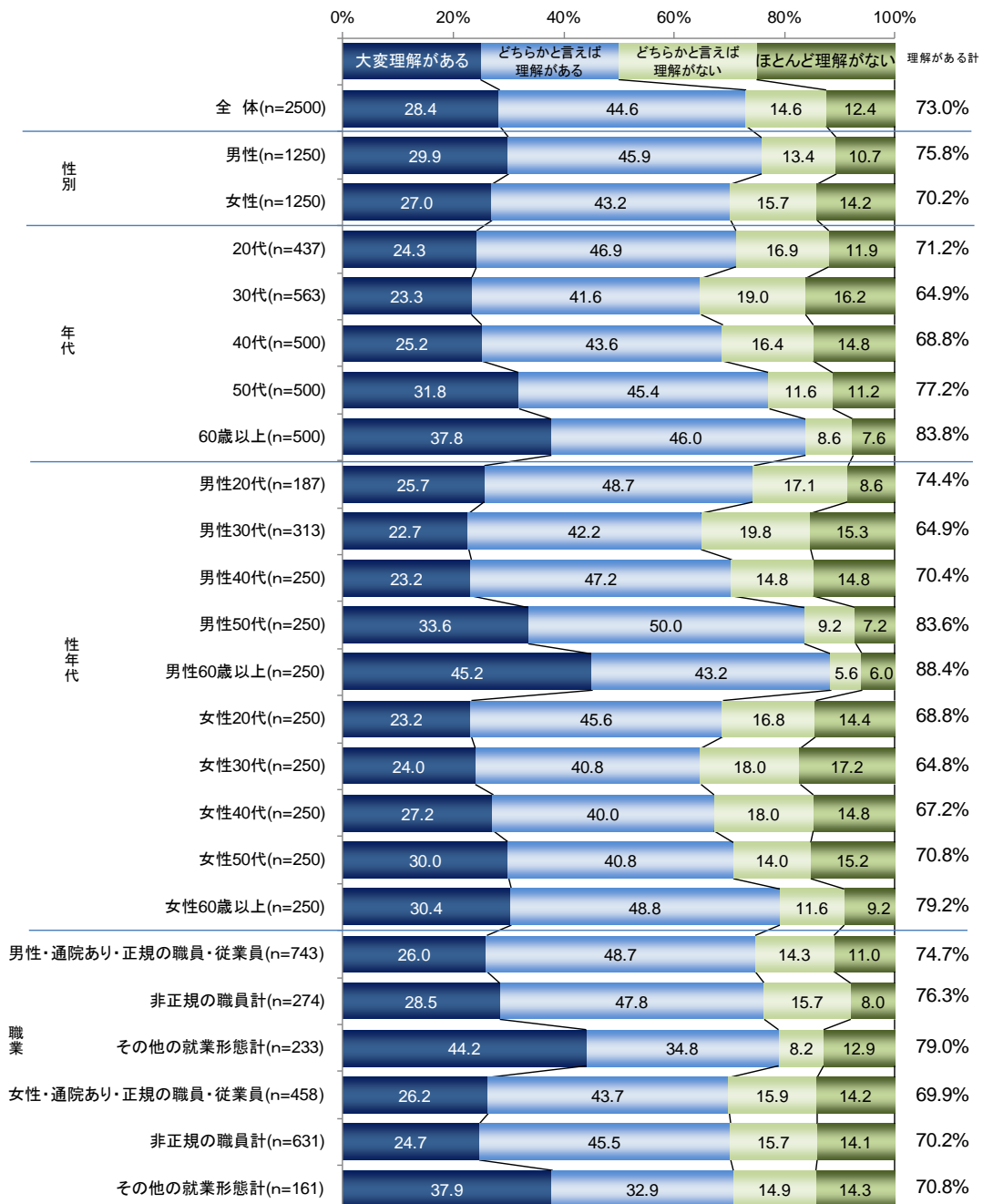


(備考) 通院ありのみの回答。

(6) 自身の体調に対する上司や同僚の理解の有無

- 自身の体調に対して上司や同僚に「大変理解がある」と感じているのは、通院ありの28.4%、「どちらかと言えば理解がある」が44.6%で、73.0%が『理解がある』としている。男性の方が『理解がある』の総計が5ポイント以上高く、男女ともに30代で『理解がある計』が他の年代に比べて低い。

図4.11. 自身の体調に対する上司や同僚の理解の有無（性別・年代・性年代・就業形態）



(備考) 通院ありのみの回答。

(7) 治療と仕事の両立における課題

- 男女ともに「働き方を変えたり、休職することで収入が減少する」「時間単位の有給休暇や短時間勤務、治療目的の休暇・休業制度などの両立支援制度がない」「病気や治療について職場で打ち明けづらい雰囲気である」の順に高い。
- 「働き方を変えたり、休職することで収入が減少する」は女性で3割を超え、女性の非正規の職員で33.4%となっている。

表4.5.通院ありの者の治療と仕事の両立における課題（性別・年代・性年代・就業形態）（%）

		減 少 す る	働 き 方 を 変 え た り 、 休 職 す る こ と で 入 収 が	的 な 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	時 間 単 位 の 有 給 休 暇 や 短 時 間 勤 務 、 治 療 目 的 の 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	病 気 や 治 療 に つ い て 職 場 で 打 ち 明 け づ ら い 雰 囲 気 で あ る	休 業 や 短 時 間 勤 務 に よ り 、 人 事 評 価 が 下 が る	仕 組 み が な い ・ 変 更 な ど を 申 し 出 る	配 置 転 換 や 仕 事 内 容 の 変 更 な ど を 申 し 出 る	両 立 支 援 制 度 等 に つ い て 、 会 社 に 相 談 で き る 窓 口 が な い	し が 、 職 場 の 上 司 や 同 僚 の 理 解 が 乏 し く 利 用 し づ ら い 雰 囲 気 で あ る	時 間 単 位 の 有 給 休 暇 や 短 時 間 勤 務 、 治 療 目 的 の 休 暇 ・ 休 業 制 度 な ど の 両 立 支 援 制 度 が	態 を 変 更 で き な い 等 （ 罹 患 前 の 勤 務 形 態 を 変 更 で き な い ）	治 療 費 を 確 保 す る た め に 、 入 収 が 減 少 す る	産 業 医 や 産 業 看 護 師 な ど が 相 談 に 乗 っ て く る 体 制 が な い	通 勤 が 体 的 に 困 難 で あ る	利 益 を 受 け る	休 業 や 短 時 間 勤 務 に よ り 、 退 職 勧 奨 や 降 不 格 を 受 け る	主 治 医 や 担 当 看 護 師 に 仕 事 の 事 を 相 談 し に く い	そ の 他	課 題 だ と 感 じ る こ と は 特 に な い
全体(n=2500)		27.6	21.9	20.1	13.8	13.5	12.2	11.7	10.6	9.2	8.6	8.0	5.4	1.3	39.8						
性別	男性(n=1250)	24.2	20.7	18.4	15.0	14.1	11.8	11.9	9.3	8.4	7.7	8.5	5.0	1.1	41.4						
	女性(n=1250)	31.0	23.1	21.8	12.6	13.0	12.6	11.4	12.0	9.9	9.5	7.4	5.7	1.4	38.2						
年代	20代(n=437)	35.7	33.6	30.4	17.6	19.7	18.5	21.3	11.9	13.0	14.4	11.0	5.0	0.7	19.5						
	30代(n=563)	36.4	26.6	27.2	19.5	16.7	15.5	17.2	14.9	11.9	9.8	11.5	8.2	1.1	27.7						
	40代(n=500)	31.0	21.2	21.8	15.4	15.6	10.2	10.0	12.2	10.6	10.4	8.0	5.2	1.2	38.2						
	50代(n=500)	24.2	17.8	13.6	12.6	10.0	10.2	7.2	10.8	6.0	6.2	7.2	4.4	1.6	45.8						
	60歳以上(n=500)	10.8	11.2	7.8	3.4	6.0	6.8	3.2	3.0	4.4	2.8	2.0	3.6	1.8	66.6						
性年代	男性20代(n=437)	25.1	36.4	27.3	16.6	27.3	17.1	24.6	8.6	11.2	9.6	10.2	3.2	0.5	18.2						
	男性30代(n=563)	35.1	22.7	26.5	20.8	16.9	14.4	17.6	12.8	9.9	9.3	10.9	8.0	0.6	28.1						
	男性40代(n=500)	28.0	20.4	20.8	20.4	15.2	10.8	10.8	10.4	11.2	10.8	12.0	5.2	1.6	41.2						
	男性50代(n=500)	24.0	18.8	12.0	14.0	9.6	10.8	6.8	10.4	5.6	6.0	8.0	4.4	1.2	46.0						
	男性60歳以上(n=500)	6.4	8.8	5.6	2.0	4.0	6.4	1.6	3.2	4.4	2.8	1.2	3.2	1.6	70.8						
	女性20代(n=500)	43.6	31.6	32.8	18.4	14.0	19.6	18.8	14.4	14.4	18.0	11.6	6.4	0.8	20.4						
	女性30代(n=500)	38.0	31.6	28.0	18.0	16.4	16.8	16.8	17.6	14.4	10.4	12.4	8.4	1.6	27.2						
	女性40代(n=500)	34.0	22.0	22.8	10.4	16.0	9.6	9.2	14.0	10.0	10.0	4.0	5.2	0.8	35.2						
	女性50代(n=500)	24.4	16.8	15.2	11.2	10.4	9.6	7.6	11.2	6.4	6.4	6.4	4.4	2.0	45.6						
女性60歳以上(n=500)	15.2	13.6	10.0	4.8	8.0	7.2	4.8	2.8	4.4	2.8	2.8	4.0	2.0	62.4							
性別・通院・有職無業	男性・通院あり・正規の職員・従業員(n=743)	25.3	24.5	21.0	19.4	16.4	13.3	15.9	10.8	10.2	6.9	10.6	5.1	1.2	34.7						
	非正規の職員計(n=274)	24.8	22.6	18.2	11.7	13.1	13.1	6.6	8.0	6.6	7.3	6.2	5.8	1.1	45.3						
	その他の就業形態計(n=233)	20.2	6.4	10.3	4.7	7.7	5.2	5.6	6.0	4.7	10.7	4.3	3.9	0.9	57.9						
	女性・通院あり・正規の職員・従業員(n=458)	29.7	26.6	23.8	16.8	14.8	15.9	14.8	12.4	14.8	8.5	9.4	7.4	0.7	32.3						
	非正規の職員計(n=631)	33.4	23.6	22.3	10.6	12.2	11.4	10.1	12.2	7.8	9.2	7.0	4.4	1.6	38.2						
その他の就業形態計(n=161)	25.5	11.2	13.7	8.1	10.6	7.5	6.8	9.9	4.3	13.7	3.7	5.6	3.1	54.7							

(備考) 1.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。

2.通院ありのみの回答。

(8) 疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったこと

- 疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったことの結果を見ると、「仕事を効率的に進めること」は、男性の方が女性よりも9%ポイント高い。
- 「上司とコミュニケーションをとる」は男女とも若年層で高い。「決めた時間に仕事が終わらなくても確実に帰ること」は男性30代・40代で高い。

表4.6.疾病罹患後の仕事を続けるうえで気を付けるようになったこと
(性別・年代・性年代・就業形態)

(%)

		仕事を効率的に進めること	仕事の質を落とさない事	職場の同僚とコミュニケーションをとること	時間内に確実に仕事を終えること	上司とコミュニケーションをとること	決めた時間に仕事が終わらなくても確実に帰ること	職場の同僚・上司に仕事を引き継げるようにしておくこと	スキルアップを図ること	顧客や取引先とコミュニケーションをとること	仕事と治療・育児・介護などを両立している人とコミュニケーションをとること	その他
全体(n=2500)		44.3	37.9	28.6	27.8	23.7	17.6	14.8	10.6	6.3	5.1	7.5
性別	男性(n=1250)	48.8	38.6	27.7	26.7	24.4	18.6	13.8	12.1	8.2	4.2	6.2
	女性(n=1250)	39.8	37.1	29.4	29.0	23.0	16.6	15.8	9.0	4.3	6.1	8.9
年代	20代(n=437)	42.8	37.1	31.4	28.1	31.8	15.6	17.2	11.7	6.4	7.6	6.4
	30代(n=563)	43.5	37.3	34.1	30.9	29.3	21.8	13.7	13.5	5.3	6.9	6.2
	40代(n=500)	44.2	32.6	28.2	27.2	24.8	19.0	15.2	8.8	5.6	4.8	8.6
	50代(n=500)	45.0	37.4	25.0	24.2	19.8	17.6	15.6	6.8	6.2	3.2	7.8
	60歳以上(n=500)	46.0	45.0	23.8	28.4	13.2	13.2	12.8	11.8	8.0	3.2	8.6
	性年代	男性20代(n=187)	49.2	42.2	31.6	30.5	34.2	15.0	10.7	10.7	6.4	8.6
	男性30代(n=313)	44.4	34.5	34.2	26.8	31.3	23.3	14.7	14.7	6.7	6.7	4.8
	男性40代(n=250)	48.8	36.0	23.6	24.0	22.0	24.0	12.8	12.8	10.0	2.4	7.6
	男性50代(n=250)	49.6	37.6	24.0	26.0	21.6	15.6	16.4	8.4	8.8	2.0	6.4
	男性60歳以上(n=250)	53.2	44.8	24.4	27.2	13.6	13.2	13.2	12.8	9.2	1.6	9.2
	女性20代(n=250)	38.0	33.2	31.2	26.4	30.0	16.0	22.0	12.4	6.4	6.8	9.6
	女性30代(n=250)	42.4	40.8	34.0	36.0	26.8	20.0	12.4	12.0	3.6	7.2	8.0
	女性40代(n=250)	39.6	29.2	32.8	30.4	27.6	14.0	17.6	4.8	1.2	7.2	9.6
	女性50代(n=250)	40.4	37.2	26.0	22.4	18.0	19.6	14.8	5.2	3.6	4.4	9.2
	女性60歳以上(n=250)	38.8	45.2	23.2	29.6	12.8	13.2	12.4	10.8	6.8	4.8	8.0
性別・通院・就業形態	男性・通院あり・正規の職員・従業員(n=743)	51.7	38.0	30.0	27.9	28.5	19.2	16.4	11.4	8.3	4.7	5.7
	非正規の職員計(n=274)	43.1	38.3	33.9	28.8	26.6	17.9	11.3	12.0	3.6	2.9	7.3
	その他の就業形態計(n=233)	46.4	41.2	12.9	20.6	8.6	17.6	8.2	14.2	13.3	3.9	6.4
	女性・通院あり・正規の職員・従業員(n=458)	48.7	39.1	30.8	33.4	25.1	13.8	19.0	9.8	3.5	7.9	7.4
	非正規の職員計(n=631)	34.5	34.9	32.3	28.1	23.6	19.0	14.4	8.4	2.9	5.7	9.4
	その他の就業形態計(n=161)	35.4	40.4	14.3	19.9	14.9	14.9	12.4	9.3	12.4	2.5	11.2

(備考) 1.赤色のセルは全体より5ポイント以上青色のセルは全体より5ポイント以下を示す。
2.通院ありのみの回答。